上尾市議会/会派レポート 2020年秋発行

発行責任者/上尾 同志会
上尾市本町3-1-1(議会内)
Tel:048-775-9452

上尾 同志会 市政ニュース

AGEO DOSHI-KAI

8月14日、新会派「上尾 同志会」を結成しました。

「議員間の地域連携」「生活実感のある 政策主体の骨太議会」実現のため、志同じ議員により新会派を結成しました。所属人数７名は現在の議会内最大ですが、数の論理でなく 広く市民の皆様のお知恵や情報をお預け頂けるよう より開かれた議会と市政刷新に向けて取り組んでいきます。上尾政治の悪習と一線を画する風通し良い運営を行い 他会派や市長とは政策本位で向き合う姿勢です。

長期化するコロナ禍中では国・県と連動した動きが重要であり、これまでの市施策の検証と提言が求められます。人口減少下や危機状況でこそ、まちの声を聞き政策研究に励む事を重視し、持続可能なまちづくりに取り組んでまいりますので、引き続き 皆様のご意見のほど 是非お寄せ下さい。

秋の議会 ご報告。「コロナ対策」「２つの政治倫理条例」を可決。

補正予算で市コロナ対策事業を追加実施

国からの「コロナ対応交付金」を活用し上尾市は支援策を実施中です。国は自治体ごとの交付限度枠を示しており上尾の枠(17.7億円)は今回の施策でほぼ使い切る形です(今後は主に市の財源から支出)。

議会からの提言も反映しつつ市は都度支援展開してきましたが、会派としては９月議会を通じ、支出要求ばかりの観点でなく財源課題を質しました。「財政調整基金(市の貯金)」は「年度末時点で標準財政規模の１割(38億円)程度の積立て」が目標とされている中、上尾市は本年度開始時７.5億円程に留まっており、コロナ禍によって普段からの積立ての課題が表面化しています。また、国からの交付金も財源は当然税金です。市会計だけの視点でなく国と情報交換しながら施策効果を改めて検証し、より効果的な政策提言と、独自財源確保の必要性を訴えてまいります。

追加実施

インフルエンザ予防接種助成 (約1億2,727万円)
１歳～中学３年生が対象。インフル感染防止で医療機関自体の負担軽減を図る。自己負担額1,500円を超える額を助成。65歳以上も県補助で実施。

小中学校・子育て施設の感染防止策 (約1億4,467万円)
小中学校・保育所・放課後児童クラブに消毒液やマスク購入支援。

プレミアム付商品券・キャッシュレス決済ポイント還元 (約4億2,924万円)
商工会議所の協力により、商品券発行とキャッシュレス還元事業を実施。プレミアム率30%、発行９万冊(１人につき３冊まで)。WEBサイトまたはハガキで申し込みを受け付け、市内の登録店舗で利用可能。

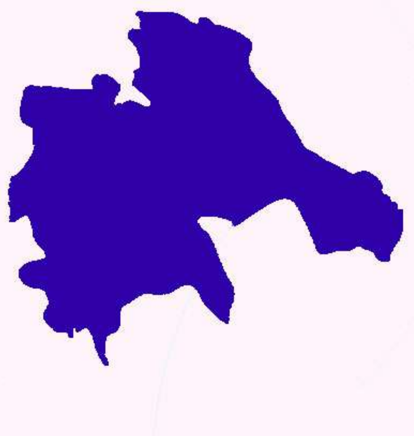
PCR検査センター等へ医療品追加支援 (約921万円)

新生児に対して10万円を給付 (約1億6,099万円)
R2年4/28~R3年4/1の間に生まれた新生児に対して給付を実施。

議会側と市長側それぞれの政治倫理条例を制定

汚職再発防止のため、法律の規定に上乗せして「親族企業の請負辞退」や「虚偽情報の発信禁止」等、自治体独自の縛りを設ける議員倫理条例を全会一致で制定しました。市側も市長・副市長・教育長側の条例案を提出。「市長を審査する審査会を市長自身が設置する」案に対し、委員選任の透明性を担保するよう会派として要望し 両条例が成立しました。

名称「同志会」について



かつて旧６ヶ町村が合併し上尾市が誕生した時代に存在した会派名でもあります。転入者が増え各地域が団結してスタートした上尾市の原点の精神に立ち返り、いま未来に向けて 何をすべきか議論しながら、持続可能な都市づくりを進めて参ります。

激励！中根かずゆき 代議士

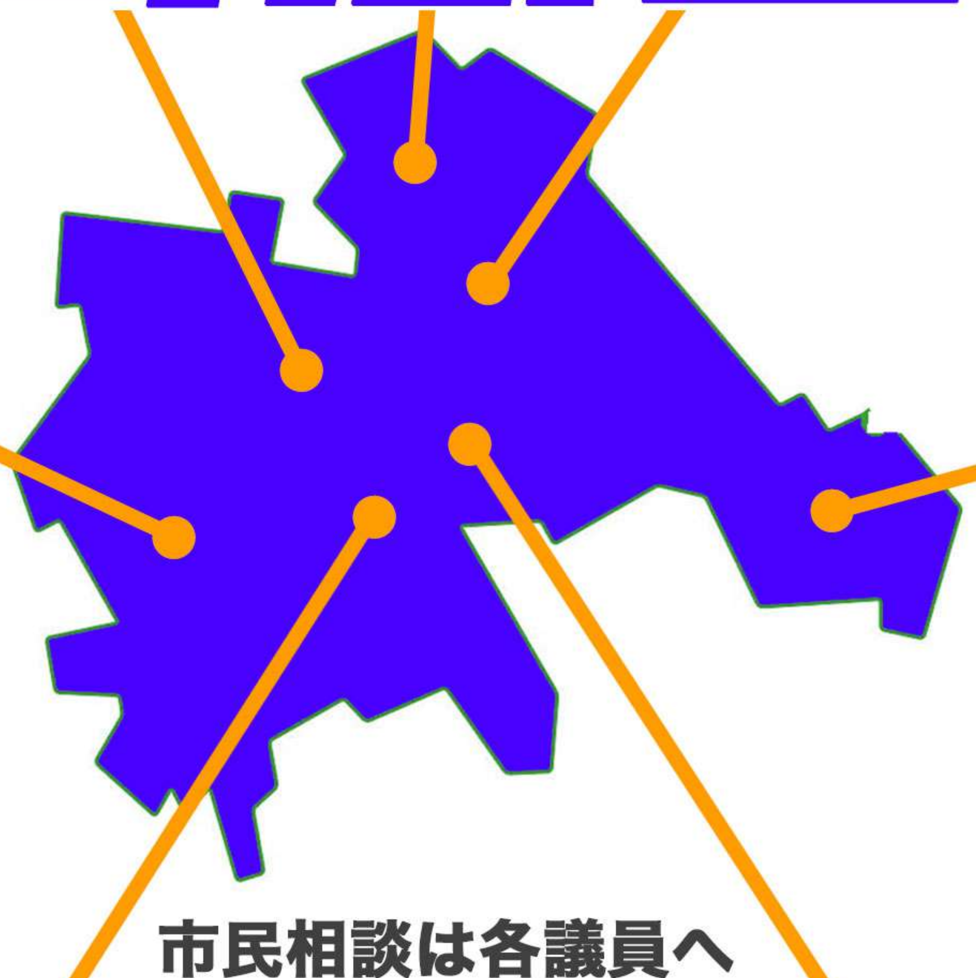
コロナ禍中で、地方自治の重要性が再認識されています。新時代の上尾を作る骨太の議員団として、国としっかりと連動した政策提案と、地域市民の方々の意見を生かした活動を期待します。

若いエネルギーとベテランの知恵が風通し良く連携する事で、市政を一新し、地域に根ざした活躍・改革ができるメンバーだと確信しています。

市民の皆様のお声を各議員までお寄せ下さい。

自由民主党 衆議院議員
元 内閣府副大臣
中根 一幸

上尾 同志会



田島 純（たじま じゅん）

取り組み

◎コロナ影響を受けている中小企業・個人事業主への市の取り組みと方針を担当部と副市長へ質疑し、雇用を守るため継続的支援を要望しました
◎コロナ禍で浮上した「防災行政無線」の課題や現状デジタル化工事の進ちょくを明らかにすると共に、聞こえにくいエリアへの対策を強く要望しました
◎高齢化・孤独死・空き家問題を取り上げ、地域運営の問題点と民生委員の役割過多問題を指摘し、「地域支え合い活動」との連携、行政と自治会間の連携を重視する必要性を訴えました
◎大石子ども会育成協議会本部役員として地域活動
◎地域防犯パトロール隊
◎㈱ソレイユにて民間企業での活動継続中
◎民間の感覚も活かし市政に提案を行って参ります

夏秋の動き

決算委員会にて次年度税収減を見越した運営を打診
民間基準のセキュリティ強化と働き方改革を提案

深山 孝（ふかやま たかし）

同志会 代表
前 市議会議長

取り組み

◎老朽化する図書館本館を上尾のランドマークとして、文化の発信拠点として新設するよう、多くの皆様のご理解とご協力の元、地鎮祭を迎える事が出来ましたが、不祥事事件の余波を受け、残念ながら工事は完全中止となりました。その後、予定地は放置され、雑草が繁茂しておりましたので、複合施設工事着工まで期間限定でグラウンドゴルフ場として暫定整備を提案し、荒れ地状態を回避しています。現状では、コロナ影響下で上平地区複合施設検討委員会もストップしておりますが、議会としてもこれまでを見つめ直し、本件に限らず市政が真の意味で前に進むよう歯車を動かしたいと考えています
◎行財政課題・基金と歳入歳出バランスのチェック
◎市内公共施設老朽課題と総面積管理の課題対応
◎議長職当時、議会機能の正常化に奔走

夏秋の動き

コロナ影響による税収見込み 市の試算の甘さを指摘
コミセン改修のチェックと市民目線での活用要望

新道 龍一（しんどう りゅういち）

総務常任委員長

取り組み

◎防災・減災国土強靭化地域計画と上尾市次期総合計画を同時策定・一体策定する事を提言。自治体そのものを強靭化する必要性を提言し、更なる災害に強い地域づくりを推進　◎平方小塚・新田地区の無堤防区間に土嚢などを積む事により、水害から地域を守る為の方策を提言。国の示す上宿地区堤防整備計画を延長し、小塚・新田地区まで一体的に整備するよう提言。河川整備計画に謳われている無堤防区間を早急に計画実行するよう国に要望
◎上平球場・平塚サッカー場等、市内スポーツ施設に企業による命名権を付与する自主財源確保を要望
◎錦町・芝川小学校通学路に横断歩道の新設を実現
◎西門前集会所増改築に関し補助金を申請し満額交付
◎榎本牧場入口市道の拡幅を実現。拡幅で車両通行がスムーズになり、歩行者・自転車の接触事故を防止

夏秋の動き

Withコロナとポストコロナの市政運営について質問
拉致問題早期解決と再発防止の意見書を提出

原田 嘉明（はらだ よしあき）

総務常任副委員長

取り組み

◎WITHコロナを考慮した市政運営・危機管理について質問。少子高齢化進展の中、コロナの影響で更に厳しい財政状況となり、財政向上と雇用促進の為、多分野で国の施策活用を打診しました
◎上尾道路沿線エリアの一層の活用策、企業版ふるさと納税のR３年度からの運用について要望しました
◎感染拡大対策のため装備拡充を打診。畔吉・領家地区の土嚢配備等の水害対策、災害ハザードマップの電子化、避難所案内看板および市民・企業が使える啓発用ピクトグラム（絵文字）導入を提案し、市から「対応する」方針の答弁を得ました
◎領家地内の悪臭騒音への取り組み・臭気測定実施
◎小敷谷地内生活道路の通過車両対策　啓発看板設置
◎中分・藤波を通る市道2052線整備の継続
◎事務区長経験を活かし、地域と協働する市政へ

夏秋の動き

休校・不登校・学校格差対策のICT活用を提言
広告活用での財源改善策と避難所対策の推進

渡辺 綱一（わたなべ こういち）

同志会 副代表
元 市議会副議長

取り組み

◎議員生活も13年となり、皆様のお声をお聞きしながら市政発展に努めてきましたが、今年はコロナ感染で世界的な不安を抱え、終息を願っておりますが、子供からお年寄りまで皆様の生活への影響や税収面の減少見込みが大きな問題と考えます。多くの方が外出や日々の活動が思うように出来ず、大変な思いの方がたくさんいると感じますが、これから寒くなりインフルエンザ・コロナ予防の戦いとなります。皆様、一緒に危機を乗り越えましょう。
◎瓦葺地区の土地利用　◎原市沼調整池整備
◎消防行政全体の強化を打診・原市分署整備の推進
◎遊休農地の有効活用について提案
◎文化財の保全・活用　◎空き家対策について
◎事件発生後、副議長として議会内の調整に尽力
◎水上公園跡地の県立50メートルプール誘致の推進

夏秋の動き

新環境センター用地決定と今後の計画について質問
これまでの市コロナ対応の検証と今後の課題整理

市民相談は各議員へ
お気軽にお寄せ下さい

田中 一崇（たなか かずたか）

同志会 幹事長
予算特別委員長

取り組み

◎幼児保育・小中学校等の子育て環境向上により、多世代が住み続けたい上尾市を作って参ります
◎コロナ影響を鑑み、市の初動を検証。一般質問で修学旅行や運動会の状況確認と校内のクラスター対策への要望、卒業学年への配慮を打診しました
◎西宮下中妻線始点変更の取り組み　◎15歳以下インフル接種無償化の推進
◎戸崎公園トイレ設置実現と災害避難時の周辺休耕地の活用案を提案
◎高崎線通勤快速全列車 上尾駅停車の取り組み　◎子育て世代定住促進強化
◎新設「予算特別委員会」初代委員長として、議会による市役所チェック強化を取りまとめ　◎妊婦への面接相談・支援体制強化を推進、実現
◎イオンと中新井倉庫建設による税収見込み試算の提案と企業誘致の推進

夏秋の動き

学校の感染予防と緊急時の教育委員会主導体制構築を提案
緊急防災減災事業債の期間延長を求める意見書を国に提出

尾花 瑛仁（おばな あきひと）

議会改革特別委員長

取り組み

◎議会と役所の適切な関係を徹底しつつ、市民生活を具体的に変える事を重視した提案と、議会内外地域の多様な方々を繋ぐ事を目指し取り組みます
◎Yahoo!㈱との防災協定を提案し実現。アプリ導入
◎上尾駅前スクランブル化推進中。協議がスタート
◎「避難所開設をガイドするキット」を市に紹介し次年度に導入予定へ
◎ムクドリ対策を提案し市が開始　◎上尾小体育館ガラス全面補修実現
◎環境センター炉破損対策 サイクル改善実現　◎消防団詰所を新築移転
◎イオン完成を予測した市道の渋滞対策準備を提案　◎役所のたらい回し対策を紹介し導入　◎地域に担当職員をつける制度提案　◎市の総合計画にSDGｓを提案、導入へ　◎市内経営者・役所若手職員の勉強会主催

夏秋の動き

他市の議員仲間とも連携しコロナ初動対応を市に情報提供
平方・大石地区等の治水対策強化の意見書を国に提出

コロナ影響をふまえ 市に次年度予算要望、国に意見書を提出。WITHコロナでの地域社会の役割は。

市長に予算要望を提出

９月は過年度決算と次年度予算編成シーズンです。予算が適正執行されたか、今後の財源となる基金状況、扶助費増減、施設老朽等を審査し、各議員に寄せられた要望や政策提言をまとめた**予算編成要望を市へ提出**しました。コロナによる税収減を予測した適切な財源配分と、机上ではなく現場の声を反映した運営を強く求めています。また、**国に対して「コロナ対策補助強化」「防災への財源保障 "緊防債"期間延長」「無堤防地域の治水対策」「国土強靭化推進」「拉致問題早期解決」の意見書提出**を会派から発案。市議会として可決し秋の議会は閉会しました。市は現在、今後10年の行政計画を策定中ですが、コロナ危機は市運営を見つめ直す機会ともなっています。次世代へ繋ぐ持続可能な社会を実現するためには、自治体が国任せではなく地域の実情をふまえて主体的に動く事が不可欠です。

地域の声を力に変え、国と連携してより良いまちづくりに励みますので、皆様のお声を是非、引き続き各議員までお聞かせ下さい。